



## 「国土交通省バリアフリー化推進功労者 大臣表彰」 協会会員 2社が受賞

国土交通省では、平成 18 年の「バリアフリー新法」(高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律)の施行を受け、総合的かつ一体的なバリアフリー化を進め、国民のバリアフリーに関する意識啓発に努めるため、「国土交通省 バリアフリー化推進功労者 大臣表彰」制度を創設しています。

この制度は、バリアフリー化の推進に多大な貢献が認められた個人または団体を表彰し、優れた取り組みを広く普及させ推奨することを目的としたものです。

第4回を迎えた平成 22 年度大臣表彰では、協会会員 2社が受賞しました。



第 4 回 国土交通省 バリアフリー化推進功労者 大臣表彰式  
(平成 23 年 1 月 18 日)

### 東京国際空港ターミナル株式会社・ 京浜急行電鉄株式会社・ 東京モノレール株式会社

羽田空港の国際線ターミナルにおいて、鉄道駅ホーム階と到着・出発階を直接結ぶ大型エレベーターの整備やモノレールのホームから出発ロビーまでフラットな動線を確保するなど、三社が協議して施設全体における高度なバリアフリー化を実現した。

#### ■京急・羽田空港国際線ターミナル駅



ホーム階と到着・出発階を結ぶ大型エレベーター (写真奥)



施設全体にフラットな動線が確保されている

### 北大阪急行電鉄株式会社・ 吹田市・ 豊中市

傾斜地の谷部・市境に位置する既存鉄道駅において、エレベーターや国道を立体横断する通路を整備するなど、周辺住宅地へのフラットなルートを確認した新たな駅舎を設置。事業者と地方公共団体が一体となったバリアフリー化を実現した。

#### ■北大阪急行・桃山台駅



桃山台駅遠景。エレベーターを利用してホームに下りる



国道を立体横断する通路に駅出入口がある